

今がんばっています

高千中学校

高千中学校では、「ふるさとに学ぶ」自然・歴史・文化(伝統)・産業・人々の生き方」をテーマに掲げ、総合的な学習の時間を進めています。その中で重点となるのが、全校をあげて学習する「国の重要無形民俗文化財『文弥人形』の継承活動」です。

1 本物の文弥人形に触れる

文弥人形に触れる機会として、常磐座の方から実演をしていただき、本物の素晴らしさに触れ、「うまく演じたい」と意欲を高める生徒がたくさんいました。



2 文弥人形を学ぶ

演目は、「粟津ヶ原」を取り上げています。5月にオリエンテーションを行い、全校生徒を「語り」担当と「人形遣い」担当に分け、年間の活動計画を生徒と担当教職員で練り上げました。

練習は主に、指導者との個別指導と、上級生が下級生を教える方法の2通りで行いました。発表会前に「語り」と「人形遣い」の合わせ

練習をしました。発表後は、指導者を交えた反省会を行い、次の活動への改善点などを話し合いました。

3 文弥人形を継承・発信する

地域の宝であり、高千中学校の特色ある活動でもある文弥人形の素晴らしさを機会あるごとに島内外の人たちに発信し、伝え続けています。8月の「たかち芸能祭」では、夕日のあるグラウンドに特設されたステージで文弥人形を演じました。大学生をはじめ島内外の多くの方々から、盛大な拍手をいただきました。

11月には「佐渡人形芝居の集い」で、佐渡に伝わる説教人形やのろま人形に混じって発表する機会を得ました。当日は、たくさんの方から「今日の日を忘れず、しっかりと受け継いでいってほしい」という温かいエールをいただき、学びの成果を実感していました。



文弥人形の継承活動を通して、生徒一人ひとりに自信と満足感、そして郷土愛が育まれてきています。

問 教育委員会学校教育課

(畑野行政サービスセンター内)

☎66-4898

生涯学習 だより

教育委員会社会教育課
(畑野行政サービスセンター内)
☎66-4160

あのみちこのまち

おしんこづくり(相川地区)

相川地区公民館では、2月18日(日)にあいかわ開発総合センターで「おしんこづくり」を行い、親子10組25人が参加しました。

小さな手や大きな手で代わる代わるこねて、色付けしたいいろいろな色の団子を作り、おこし型等を使いながら楽しそうに型おこしをしました。子どもたちは蒸したおしんこに艶が出るように祈りを込めながらうちわで冷たい風を送っていました。



真剣な眼差しでつくる子どもたち

袋に入れた、いろいろなおしんこを見ながら「おひなさんに飾ろう」と笑顔で呟いた子どもたちの姿が印象的でした。

真野地区芸能祭 つなげよう広げよう真野 (真野地区)

真野地区公民館では、2月25日(日)に真野ふるさと会館で芸能祭を開催しました。

準備から当日の運営まで、公民館自主講座の皆さまや地区の皆さま、区内小・中学校の皆さまのご協力を得て、地区の芸能・文化を継承する20団体の素晴らしい芸能をご披露することができました。

また、当日は小さな子どもからお年寄りまで、約500人の皆さまにご来場いただき、世代間交流としても大変有意義な一日となりました。

来年も2月の最終日曜日に開催する予定です。

生涯学習 発表会 第31回真野地区芸能



「歌はともだちメドレー」を熱唱する、真野っ子シンガーズ(真野小)の皆さん